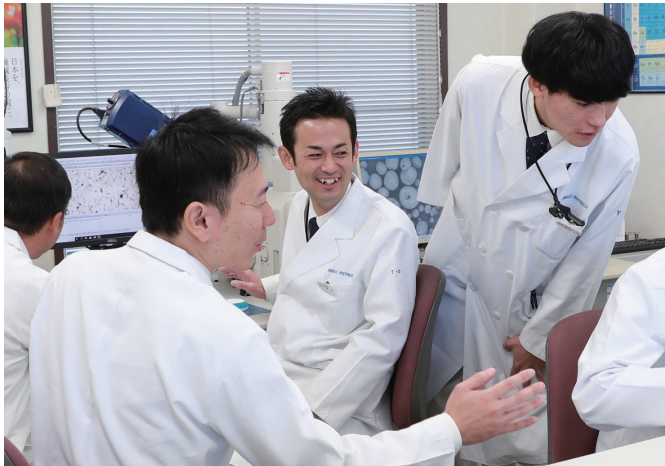




## 誰もが働きたい会社を目指して

### 「人を大切にする」大家族経営

1933年に創業した同社は、「溶射」という表面処理加工一筋で今日まで歩んできた企業。「溶射」とは、金属やセラミック等を様々な熱源により加熱し、溶融またはそれに近い粒子を物体表面に吹き付けて皮膜を形成する表面改質技術である。3代目の現社長(立石豊氏)が就任後、同社が過去より掲げてきた「人を大切にする」大家族経営を更に積極的に推進してきた。



その想いを体現化する取組はいくつか存在するが、その主な取組の一つ目は2015年に開始した「ドリームセブン」である。この制度は、入社1年後からの従業員に与えられる7日間連続の休暇制度だが、全社員必ず取得することが義務付けられ、期初に従業員自身の希望を基に計画的に申請されている。

次に2つ目の取組は2011年より開始した「女性育児休暇及び育休出勤」。この制度の特徴は、出産後3~4ヶ月経過した女性従業員が赤ちゃんと一緒に月1回「出勤」し、育児休暇中も会社と従業員の定期的な情報共有・交流をはかるといものである。また、併せて「スライドワーク勤務(都合による勤務開始時間の微調整)」や「時短勤務」等で働くママを応援する制度も設けられている。同僚が赤ちゃんの顔や名前を覚えて成

長を見守ることで、濃密な人間関係をつくり出している。これはまさに同社が掲げる「人を大切にする」大家族経営の体現化と言える。

更に3つ目の取組は、「イクメンファイブ」である。2017年に開始されたこの制度は、男性従業員向けの育児休暇(連続5日間)であるが、対象社員全員に取得が義務付けられているという点が特徴的である。

### 従業員の定着を目指して

同社の製造部門における業務は過酷であり、創業以来なかなか従業員に定着してもらうことができなかった。現社長(立石豊氏)が就任した1994年当時は、従業員の離職率が約40%もあり、経営の安定化が難しいという状況であった。

そこで、誰もが働きたい会社を目指して前述のような取組を少しずつ開始した。

まず、「ドリームセブン」や「イクメンファイブ」等従業員がワクワクして取得したくなるネーミングとすることにした。また、「ドリームセブン」や「イクメンファイブ」に関しては、従業員が制度を活用しやすいようにいくつかの工夫を



凝らした。「最大7日間・5日間」と規定すると、職場への遠慮から数日間だけ取得する従業員が出てくる可能性がある。そこで「7日間必須」、「5日間必須」とすることで全従業員が活用しやすい制度となった。さらに休暇取得時には朝礼等で同僚へ休暇情報をオープンにすることとし、職場のコミュニケーション増加や一体感の醸成という副産物にもつながっている。

### 離職率が大幅に減少 (1994年:40.0%→2019年:2.2%)

さまざまな趣向を凝らした取組の結果、1994年には40%もあった離職率が2019年には2.2%まで減少した。また、現状では「ドリームセブン」・「イクメンファイブ」・「女性育児休暇(育休出勤)」の取得率は100%であり、各種制度が形骸化することなく、積極的に活用されている。

また、長期の連続休暇を取って会社に戻ってきた男性従業員から「家事や子育ての大変さを実感した」等のコメントも多く聞かれ、各従業員の新たな「気づき」による視野の広がりにも寄与しているようである。

同社は「従業員の幸せと成長を追求する企業」という価値を目指しており、「日本でいちばん大切にしたい会社」となれるように日々新たな挑戦を続けている。

### 企業情報

【業種】 製造業(溶射施工等) 【資本金】 3,000万円 【従業員】 90名  
 【所在地】 滋賀県湖南市吉永405番地  
 【HP】 <https://www.shinco-metalicon.co.jp/>

#### ●事業概要

各種金属・セラミックス、サーメットの溶射施工

#### ●各種アワード

滋賀でいちばん大切にしたい会社/2015年、ホワイト企業大賞「人間愛経営賞」/2019年、イクボスアワード「グランプリ」/2019年、がんばる中小企業・小規模事業者300社/2015年等

